【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第２区分
【発行日】平成20年5月8日(2008.5.8)

【公開番号】特開2002-289984(P2002-289984A)
【公開日】平成14年10月4日(2002.10.4)
【出願番号】特願2001-87718(P2001-87718)
【国際特許分類】
Ｈ０５Ｋ　1/02　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　17/02　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｈ０５Ｋ　1/11　(2006.01)
Ｈ０５Ｋ　3/28　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０５Ｋ　1/02　Ｅ
Ｇ０３Ｂ　17/02
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｚ
Ｈ０５Ｋ　1/11　Ｈ
Ｈ０５Ｋ　3/28　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月26日(2008.3.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　少なくとも一部が湾曲部において湾曲され、所定の配線用パターンを有する両面フレキシブル基板において、
補強用カバーレイと、
上記基板の両面間のパターン同士を導通させる第１のスルーホールと、
を具備し、
上記湾曲部に結線上無効な第２のスルーホールを形成したことを特徴とする両面フレキシブル基板。
【請求項２】　少なくとも一部が湾曲部において湾曲され、配線用パターンを有する両面フレキシブル基板を有するカメラにおいて、
上記両面フレキシブル基板は、補強用カバーレイと、上記基板の両面間のパターン同士を導通させる第１のスルーホールと、を具備し、
上記湾曲部に結線上無効な第２のスルーホールが形成されていることを特徴とする両面フレキシブル基板を有するカメラ。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
【課題を解決するための手段】
上記課題を解決し目的を達成する為、本発明では次のような手段を講じている。第１の発明によれば、少なくとも一部が湾曲部において湾曲され、所定の配線用パターンを有す

る両面フレキシブル基板において、補強用カバーレイと、上記基板の両面間のパターン同士を導通させる第１のスルーホールと、を具備し、上記湾曲部に結線上無効な第２のスルーホールを形成した両面フレキシブル基板を提案する。

【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】

また第２の発明によれば、少なくとも一部が湾曲部において湾曲され、配線用パターンを有する両面フレキシブル基板を有するカメラにおいて、上記両面フレキシブル基板は、補強用カバーレイと、上記基板の両面間のパターン同士を導通させる第１のスルーホールと、を具備し、上記湾曲部に結線上無効な第２のスルーホールが形成されていることを特徴とする両面フレキシブル基板を有するカメラを提案する。